

平成 25 年度河川巡視結果

1 実施日時及び巡視場所

実施日時	時間帯	管轄署	巡視河川等
4月17日(水)	午前	青葉消防署	梅田川(梅田橋～東照宮前橋)
	午後	宮城野消防署	七北田川左・右岸河口付近、蒲生字町、西原地内、白鳥一丁目地内
4月18日(木)	午前	若林消防署	貞山運河、井土浦川、二郷堀
	午後	太白消防署	谷地堀(旧笹川合流点)
4月19日(金)	午前	泉消防署	七北田川左岸(七北田大橋～泉大橋)、山田川、花輪川
	午後	宮城消防署	広瀬川(芋沢字新田・大竹新田地内)

2 巡視参加機関

国	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所名取川出張所
県	宮城県仙台土木事務所
市	経済局農林部農林土木課 都市整備局住環境部開発調整課 建設局百年の杜推進部河川課 建設局下水道事業部下水道調整課 建設局下水道事業部下水道北管理センター 建設局下水道事業部下水道南管理センター 青葉区役所区民部区民生活課 青葉区宮城総合支所まちづくり推進課 宮城野区役所区民部区民生活課 若林区役所区民部区民生活課 太白区役所区民部区民生活課 泉区役所区民部区民生活課
消防局署・消防団	消防局、各消防署、各消防団

3 参加人員(人)

巡視場所	国・県・市関係	消防団員	消防職員
青葉消防署管内	9名	3名	15名
宮城野消防署管内	12名	5名	9名
若林消防署管内	13名	16名	9名
太白消防署管内	8名	3名	11名
泉消防署管内	7名	7名	15名
宮城消防署管内	9名	4名	4名
合計	58名	38名	63名

4 巡視結果

(1) 青葉消防署管内

青葉区上杉六丁目上杉山中学校北東側杉戸橋付近から巡視を開始し、杉戸橋付近は川の流れが緩やかで侵食等は見受けられなかった。上流側の台原一丁目2番地内付近で、梅田川に合流している下水配管の部分があるが、付近の配管が集まった部分であり雨水が容量を超え、上部マンホールから流れ出ることがあるとのことである。流れの弱い部分で川内に土砂の堆積が見られた。付近の住宅には浸水した履歴は無いとのことである。

東照宮前橋付近を巡視したところ、一部護岸工事がされていない部分があり、今後その部分の土地所有者との協議により改修を考えているとのことであった。

上流の梅田町7番付近では、左岸堤防上の一部の防護柵が傾斜しており、改修予定とのことである。さらに上流の堤町付近では、仙台川への配水管が分岐しており、梅田川の水位が上昇した際に、仙台川に水が流れ込み、下流の水位上昇を抑制しているとのことであった。

この地域付近は近年水位の上昇や越水被害は発生していないが、昨今のゲリラ豪雨など局地的な雨量の発生により、付近民家への浸水被害の可能性は無くなってはおらず、低地や護岸の低い部分の把握など今後も継続していく必要がある。

(2) 宮城野消防署管内

東日本大震災時、津波により七北田川の河口の左岸の防波堤及び右岸の堤防（平成23年9月の台風時に再決壊）は決壊し、昨年度の巡視時までは土嚢で応急処置が行われていたところであるが、これまでの復旧作業により七北田川右岸の破損箇所の工事は平成25年3月に完了している。なお、高砂橋上流については堤防の嵩上げ工事を行っており、平成26年度中に終了予定である。また、高砂橋下流については、用地取得後、築堤護岸工事を平成27年度末の完成を目途に行う予定である。

七北田川左右岸、河口、蒲生字町、西原地内では河口の堆積していた土砂の除去作業が完了しており、築堤工事が行われていた。

貞山堀と七北田川の接続部分は昨年度の巡視時と変わらず、仮設のフラップゲートが設置されている状況であった。和田排水樋門については開閉可能であり、海面の上昇等により七北田川の水位が高い場合、閉鎖することで対応している。

七北田川左岸の白鳥一丁目地内のポンプは5台（1台毎分4t）設置されており、4台は発電機が付属しており、1台は商用電源で稼働しているが、今後、すべて商用電源とする予定である。都市排水路には水位計が設置されており、事務所で水位の変化を遠隔監視している。また、ポンプの排水能力が不足する場合は、河川国道事務所で所管している、排水ポンプ車（毎分30t）を依頼することも可能とのことである。

昨年に比して、復旧工事が進んでおり、河口付近右岸の堤防は復旧が完了していたが、河口部の築堤護岸工事や堤防の嵩上げ工事の完成までには時間を要するため、その間の水防活動については十分に注意を払う必要がある。今後も堤防、排水ポンプ等の復旧状況を随時確認しつつ、各機関との連携を深め、水防警報発令時の初動を迅速なものとし、災害対応力を強化していく必要がある。

(3) 若林消防署管内

今年度も昨年と同様に、東日本大震災により被害を受けた箇所を実施した。藤塚排水場のポンプは、現在毎秒1.3トンの処理能力であるが、平成26年度に1.55トンへのポンプ改修工事を行う予定である。

井土浦樋門については、貞山運河と井土浦川の水位調整のための樋門であり津波により破損したが、貞山運河の樋門は国土交通省の堤防かさ上げ工事の完了と同時に改修されているが、井土浦川の水門は昨年同様で改修工事は未定である。

二郷掘排水場は、仮設立屋と排水機の改修工事が完了し稼動可能となった。

大堀排水場は、農業用水の排水場で津波により破損したが、現在は改修されている。

また、貞山運河は本来宮城県で管理しているところであるが、藤塚地区の堤防の整備を国土交通省にて代行整備事業で行っていたところ、津波により被災したため、同省にて復旧整備を行い工事が完了している。

今年度の河川巡視では、津波による被害から排水機はほぼ改修されたものの、現在も継続している水路等の改修はまだ一部で、今後の改修状況により水防対策を検討して行く必要がある。

(4) 太白消防署管内

準用河川谷地堀は、本来農業用水路であったが、流域の急速な市街化に伴い雨水排水路としての機能を持っている。

谷地堀下流域（旧笹川合流点）周辺は名取川と広瀬川に挟まれた低地であり、平成6年の豪雨及び平成14年7月の台風6号に伴う大雨では、旧笹川からの逆流によって沿川の住宅地内に道路冠水が発生している。

浸水対策として、堀の流水量飽和量の増加を図るため、旧笹川合流点から国道4号仙台バイパスまでの約910mを築堤及び川幅拡張が計画された。

現在は、建設局河川課で改修区間の用地買収が完了し、下流側から順次改修工事に着手していたものの、東日本大震災により一時中断となり、現在の計画では、今年度、橋台調査、改修が完了するまで約10年の期間を要する予定であるが、大雨時は十分に警戒する必要がある。

この区域は下流側から自然堤防の様相を呈した護岸工事がされているが、雑草の繁茂による護岸の崩れや洗掘は認められなかった。

(5) 泉消防署管内

七北田川左岸については、上流に向かい約100メートル巡視を実施した。河川自体には異常は見られないが、昨年巡視時に亀裂が確認できた右岸の表のり部分は護岸工事を実施しており6月末に完了予定である。

左岸は上流100メートルの護岸工事を昨年度完了している。

また、現在工事中である仙台川との合流地点はまもなく完了予定である。

花輪川については、花輪橋から下流の橋まで整備が完了してからの氾濫はない。花輪橋から上流200m地点から復旧工事中で9月に完了予定とのことであり、上流の堤防がやせており注意すべき場所とのことであった。

山田川は昨年過去に氾濫した経緯から、昨年山田川護岸及び通路を切り下げる工事を行い、民家に流れる水を山田川に流すようになった。上流はカゴマット工法により護岸整備を行っており今年12月に完工予定である。

今後も関係機関と連携を密にして管内の水防危険箇所の実態把握に努め被害の軽減を図っていく必要がある。

(6) 宮城消防署管内

広瀬川の芋沢字新田地内の箇所にあっては、昨年度から変化も無く、異常は認められなかった。広瀬川が増水し、西仙台病院東側に位置する聖川の大堀橋付近の水位が上昇した場合には

橋付近から越水する可能性はあるが、近年そこまで水位が上昇した記録はない。

芋沢字大竹新田地内の箇所にあつては、土砂の堆積が著しく、川が塞がり中洲も寄り洲に変化していたが、今年度に土砂取りを行う予定とのことであった。

今後も各関係機関と連携を密にし、継続して監視をしていく必要がある。